日本工学院八王子専門学校開講年度		2019年度(平成31年度)		科目名	スポーツ行政論				
科目基礎情報									
開設学科	スポーツ健康学科三年制		コース名	スポーツビジネスコース		開設期	前期		
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	30時間		
単位数	2単位		開講時間	講義					
教科書/教材	教材 教科書は指定せず、授業毎に資料を配布します。また、参考書として適宜文献を紹介します。								
担当教員情報									
担当教員	金森 純				実務経験の有	無・職種	なし		

## 学習目的

わが国のスポーツ行政の現状について学び、講師解説やグループディスカッションを通して理解を深めることを目的とします。スポーツ振興を展開する にあたっての法整備、指導者育成、スポーツイベントの開催、スポーツ施設設置、地域活性化などの政策について理解し、スポーツ振興の基礎について 理解を深めます。

## 到達目標

わが国のスポーツ振興の現状を理解し、その長所と短所を考察できるようになることを到達目標とします。また、今後望まれるスポーツ行政の在り方を提示できるよう意識してください。またその日のテーマとなる事象について、行政、地域、参加者、観客などの多様な利害関係者の視点を意識し、それぞれの立場に立ちながらディスカッションに参加しましょう。そこでの議論を元に思考を深め、口頭あるいは文章として、自らの考えを表現する力を身に付けることを到達目標とします。

## 教育方法等

授業概要

全て講義形式による。詳細は初回講義時に説明しますが、パワーポイントを用いて講義を進め、資料を配布します。

出席者にも意見を求め、ディスカッションを行いながら進めるので、自分の言葉で意見を言えるよう準備をしておくよう心掛けましょう。 また毎回授業の最後にリアクションペーパーを課します。限られた時間と紙幅の中で、自らの思考を表現できるよう日頃から意識しましょう。

注意点

学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視します。キャリア形成の観点から、授業中の私語、携帯電話の使用などの受講態度などには厳しく対応します。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求めます。授業で学ぶ様々な事象について関連付け・理由付けができるよう、新聞・ニュースなどから幅広く情報を収集するよう心掛け、主体的に参加してください。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。以上、詳細は最初の授業で説明します。

	種別	割合	備  考				
評	試験	50%	期末試験として、授業のまとめとして実施				
価	中間テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施(第8回に計画)				
方	リアクションペーパー	30%	授業内容の理解度を確認するために実施(各回)				
法							

## 授業計画(1回~15回)

	授業内容	各回の到達目標					
1 🗓	ガイダンス、スポーツと行政	授業の概要について理解します。スポーツと行政の関係について理解します。					
2 🗓	スポーツとソーシャル・キャピタル	ソーシャル・キャピタルとしてのスポーツの在り方について考察します。					
3 🗓	わが国のスポーツ行政組織とその役割①	主に国および中央省庁の役割について理解し、その望まれる姿について考察します。					
4 回	わが国のスポーツ行政組織とその役割②	主に地方自治体の役割について理解し、その望まれる姿について考察します。					
5回	わが国のスポーツ行政組織とその役割③	主にスポーツ統括団体の役割について理解し、その望まれる姿について考察します。					
6 回	スポーツ関連法とその狙い	スポーツ関連法の体系について学び、その課題について考察します。					
7回	スポーツと財政	スポーツにまつわる財政の構造と原理について理解を深めます。					
8 🗓	スポーツ施設、中間テスト	わが国のスポーツ施設の現状と課題について考察します。					
9 🗓	メガイベントとスポーツ政策	オリンピックや国民体育大会の意義について考察します。					
10回	わが国の学校体育政策	学校体育および部活動が果たす役割について考察します。					
110	スポーツと地域行政	社会的施策および経済的施策としてのスポーツの在り方について考察します。					
12回	地方自治体によるスポーツ産業振興	自治体間競争の過熱を背景としたスポーツを用いた産業振興について、その功罪を考察します。					
13回	総合型スポーツクラブとその施策	総合型スポーツクラブの現状と課題について考察します。					
14回	海外におけるスポーツ政策の実態	主に西ドイツを中心としたスポーツ政策について学び、わが国への影響について考察します。					
15回	まとめ	これまでの議論から、わが国のスポーツ行政について考察します。					